個人情報保護の仕組みを、企業の信頼へ。

Pマーク取得を専門家が伴走サポート



申請準備から審査対応、取得後の運用・更新まで。

社内で継続できる**個人情報保護体制の構築**を、担当者に寄り添いながら支援します。

新規取得・更新
どちらも対応

プライバシーマーク制度とは？

プライバシーマーク制度は、事業者の個人情報の取扱いが適切であるかを評価し、基準に適合した事業者にマークの使用を認める制度です。

取得するためには、個人情報を取り扱うためのルールや社内体制を整備し、社員教育・点検・見直しを継続して行う仕組みが必要です。

書類を作成するだけでなく、定めたルールが実際の業務で運用されているかを第三者が審査します。

取得後も継続的な運用が必要です

定期的な教育・内部点検・改善を行い、更新審査に備えます。



Pマーク取得のメリット

01 信頼の見える化

個人情報を適切に管理する体制を、取引先やお客様へわかりやすく示せます。

02 取引機会の拡大

社内ルールの整備と社員教育により、情報漏えい・誤送信・紛失などの予防につながります。

03 事故リスク低減

個人情報保護体制が求められる取引や、業務委託先の選定・入札への準備につながります。

取得までの主なサポート

01 現状確認
個人情報の取扱状況や社内体制を確認します。

02 規程・運用体制の整備
必要な規程・様式を整え、運用方法をご案内します。

03 申請書類・審査対応
申請準備から現地審査・指摘事項への対応を支援します。

04 取得後の運用・更新支援
教育・点検・見直しを行い、更新審査に備えます。

初めて担当される方にも、わかりやすくご説明します。

20余年の経験
取得支援実績 40社以上

更新サポートもお任せください！

制度情報：プライバシーマーク制度公式サイト（privacymark.jp）

お問い合わせ
NEXT GIFU
SYSTEM SOLUTION
株式会社NEXT岐阜 システムソリューション事業部
岐阜市本荘中ノ町1-1 E-mail: hpsystems@next-gifu.jp https://next-gifu.jp
058-275-3550 FAX:058-275-3557

有効期限：2026年12月31日

NEXT GIFU お問い合わせください!!

2026年度末開始予定



サプライチェーン強化に向けた

SCS評価制度

国が推進するセキュリティ対策の評価制度

SCS評価制度は、経済産業省と内閣官房国家サイバー統括室の方針のもと、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が運営する、企業のサイバーセキュリティ対策を“★”で見える化する制度です。

SCS評価の取得で、ビジネスが大きく変わる

取引で選ばれる

国基準の証明で新規獲得

セキュリティ対策を国の基準で証明。
信頼される企業として、
新規取引のチャンスが広がります。

入札に有利・信頼を守る

取引先からの個別チェック対応も不要に

共通の評価基準により、取引先ごとの重複チェックやアンケート対応の負担を軽減します。

会社を守る

サイバー攻撃による事業停止リスクを削減

体系的な対策で、インシデントの発生・拡大を防ぎ、事業継続性を高めます。

評価レベルの概要

レベル	評価方式	求める水準・特徴
★3	専門家確認付き自己評価	一般的なサイバー脅威に対処しうる水準 ・基礎的な組織対策とシステム防御策が中心 ・全てのサプライチェーン企業が取組を要求すべきレベル
★4	第三者評価 ＋ 技術検証	被害拡大防止や目的遂行リスク低減まで含む包括的な水準 ・実地審査と脆弱性検査を実施 ・侵入後の対策やサプライチェーン上の役割まで考慮した対策を要求
★5	今後具体化 （2026年度以降）	高度なサイバー攻撃への対応を想定 ・ベストプラクティスに基づく高度対策 （2026年度以降に具体化予定）



規定マニュアル作成・教育など

全力でサポートします!

評価取得までの流れ（★3・★4共通のイメージ）

01 体制整備・対策の実施
社内体制・ルール整備、各種対策を実施し、証跡を準備します。

02 申請
IPAの申請システムから申請します。

03 評価・確認
★3：専門家が確認・助言・署名
★4：評価機関が審査・技術検証を実施

04 審査・判定
基準への適合を確認し、評価レベルを判定します。

05 SCS評価の取得（エンドースメント発行）
評価レベルに応じた、エンドースメントを発行。

こんな企業におすすめ

取引先からセキュリティ対策を求められている企業
国の基準で信頼を証明し、取引機会を拡大。

入札・調達で対策状況を適切に高めたい企業
評価取得で、入札・調達に有利な立場を確保。

限られた人員で効率よく組織対応を進めたい企業
共通基準の活用で確認の負担を減らし、効率的にセキュリティ対策を強化。

サプライチェーン対策を計画的に進めたい企業
取引先や関係先との連携を強化し、取引全体のリスクを低減。

SCS制度がおすすめの理由

1. 国の共通基準で、取引先への説明がしやすい
2. 個別のセキュリティチェック対応の負担を軽減
3. 入札・調達での信頼性向上に役立つ
4. 事業継続・情報保護の体制強化につながる